

団体名 明日を紡ぐ大地の会（山口市）

代表者名	福島 光子	団体の目的 草の根の文化活動を通じて、県民のふるさとへの愛と誇りを高め、平和で心豊かな山口県を築く。
構成員数	8人	
設立	2010年(H22年)4月	
問い合わせ先	083-921-2476（福島）	

事業名 明日を紡ぐ大地の会創立10周年記念事業

事業の目的 ・ふるさとゆかりの芸術遺産の発掘・再生や、地域の多様な芸術集団の共同発表により、ふるさとの自主的な文化芸術活動の育成と活性化に貢献する。

事業の内容

- ・第7回女流芸術家発表交流会
開催日：7月26日 13:30～15:45
場 所：山口市民会館 参加者：120人
内 容：・ケーナ演奏（平尾節幸さん）
・日本舞踊（花柳流「むつみ会」）
・劇と紙芝居「うた時計とごん狐—新美南吉の世界」（明日を紡ぐ大地の会）
- ・2020市民みんなの文化祭
開催日：11月22日
場 所：ニューメディアプラザ山口 参加者：180人
内 容：・ハーモニカ演奏（ハモールカ）
・ケーナ演奏（平尾節幸さん）
・バンド演奏（フレンズ&ゆずっこ）
・日本舞踊（花柳流「むつみ会」）
・サクソフォン演奏（Ototumugi、サクソフォン・アンサンブル Jr）
・朗読喜劇「富岡先生」（明日を紡ぐ大地の会）

事業の成果

- ・地域の芸術家が、ジャンルを超えて相互に学び、成長することができた。
- ・公演を重ねるごとに観客数も伸び、文化芸術による平和で心豊かなふるさとづくりへの理解が進んだ。

活動現場レポート 第7回女流芸術家発表交流会〈R2.7.26/山口市民会館〉

この日は、創立10周年記念事業の一つである「女流芸術家発表交流会」が開催されました。

冒頭、福島事務局長の挨拶で、「こんな時期だからこそ、文化の力で市民を励ましたい」と熱い思いを語られ会場から賛同の拍手が沸き上がっていました。

今回出演されたのは市内で活動する2団体と1個人で、途中休憩を挟みながら、日頃の成果を披露されました。また、当会は新見南吉をテーマに「うた時計」と「ごん狐」の2作品の朗読劇を披露されました。

事前に「コロナ禍で練習場所にも困っている」との相談を受けていましたが、それを感じさせない素晴らしい完成度で、会場の皆さんも作品の世界に引き込まれている様子でした。



朗読劇「うた時計」



感染症対策をとって開催